



港町の活気。爽快な緑。動と静の多彩な魅力。

八戸市は日本でも有数の漁港です。旬の魚にあふれる市場や朝市も多く、そこには人情味のあるコミュニケーションがあります。また冷涼な気候のため、内陸部では畑作・酪農などが盛んです。気候・風土が津軽地方とはまったく異なり、南部藩時代の独自文化がいまも大切に受け継がれています。



- A 種差海岸・葦毛崎展望台
- B 陸奥湊朝市
- C せんべい汁(郷土料理)
- D 田植え体験
- E そば打ち体験
- F 野菜収穫体験
- G 地引網体験
- H 農業体験
- I そばかけ(郷土料理)

港街に息づく

新幹線での旅
八戸駅
から
出かけよう!

八戸駅からは、八戸周辺地域のグリーン・ツーリズムがオススメ!

太平洋に面した三八エリアは、稀少な植物の宝庫である
種差海岸、海水浴客でにぎわう白浜海岸、ウミネコの
繁殖地として知られる蕪島など、景勝に恵まれた
海岸線が印象的です。地引網を使って魚を捕る漁業体験や、
地場産のそば粉を使ったそば打ち体験、
サクランボなどの果実の収穫体験も楽しめます。

館鼻漁港漁朝市

三八エリアに伝わる「えんぶり」は、県南地方に春を呼ぶ祭り。藩政時代から続く豊作祈願の民俗芸能です。「えんぶり」と呼ばれる、田んぼを平らに摺りならす農具を持って舞ったこと由来するといわれています。馬の頭をかたどった華やかな烏帽子をかぶり、頭を大きく振る独特の舞が特徴で、稲作の種まきや田植えを表現したものです。子ども達による可愛らしい祝福芸が始まると、沿道の観客から大きな歓声が上がります。また、八戸市では毎年夏に、「三社大祭」が行われます。華麗な山車絵巻が繰り広げられると、人々は短い夏を惜しむかのようにかけ声で祭りを盛り上げます。



八戸えんぶり

文化に触れる。

地域の文化に根ざした、民俗芸能と祭り。



山の楽校そば畑

「粉の食文化」が生んだ、豊富なそば料理。夏にヤマセ(オホツク)から吹く冷たい東風が吹く県南地方は、稲作の栽培にあまり適さないことから古くからそばの栽培が行われてきました。そのため、そば汁だんご、そば串餅、そばかけ、酒まんじゅうなど、そば料理のバリエーションも豊富です。そば打ち体験が楽しめる施設もあるので、ぜひ体験してみませんか? また、そば粉以外にも、小麦粉や雑穀を利用した郷土食も多彩。B級グルメの代表格として今やすっかりおなじみの「せんべい汁」など、「粉の食文化」が生んだご当地料理もぜひ堪能してみたい味です。

「粉の食文化」が生んだ、豊富なそば料理。